



福井駅 (福井市)

福井市の玄関口である福井駅は、北陸新幹線の開業によりアクセスがぐっと便利になった、明るく開放感のある駅です。駅前には動き出しそうな迫力の恐竜モニュメントが並び、「恐竜王国・福井」らしいワクワクした雰囲気が広がります。旅のはじまりにも、思い出の締めくくりにもぴったりのスポットです。

INDEX

表紙 福井の名所探訪⑤
福井駅

P2 デイケアだより

P3 家族は今

P4 すこやか講座
「嗜銀顆粒性認知症」

P5 すこやかスマイルクラブ通信

P6 トピックス
「外来診療体制」「永年勤続表彰」

P7 トピックス
「新人あいさつ」

P8 令和8年度 一般研修案内

理念

認知症高齢者の方々の人間的尊厳を尊重し、こころ温まる医療と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、一人ひとりに対する医療と温かみのある看護の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 活き活きとした働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが健全な病院運営を努力

患者様の権利に関する宣言

- ① 良質な医療を平等に受ける権利
- ② 選択および自己決定する権利
- ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④ 十分な説明を受ける権利
- ⑤ 個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑥ 個人の尊厳を守る権利
- ⑦ 通信・面会を自由に行う権利

デイケアだより

デイケアつどいででの活動をご紹介します！

ふんわり和紙のお花リース

小さな和紙のお花作成は根気のある作業でしたが、皆さん和気あいあい会話が弾み、手際よく作業されていました。お好みのお花を選び、リースに仕上げていきます。



テキパキ★



自分でいうのもあれやけど、いいの～



こっちの色がいいかな？

ほらね、上手いこといった



お正月遊びは… 大きなだるま落とし!



思いっきりよくハンマーで叩くと皆さん大歓声★

パキパキパキ



「もっと認知症を知っていたかった」

T・J様の御家族

母親の行動がおかしいと思い始めたのは、今から3年ほど前でした。料理が得意で好きだった母親のカレーがとんでもない味になっていました。何を入れたのかと聞いても「これで良いのだ、おかしくない」と言い張っていました。そのあと鍋の空焚きなどがあり台所のガスを止めました。母親は以前できた事が出来なくなる自分にいら立ち、私もそんな母親を見るのが辛くお互い疲れていきました。

認知症がひどくなり、徘徊も増え転んで骨折、自宅介護が困難となり施設のお世話になりました。1ヶ月ほど経つと、暴言・暴力、他人の部屋に勝手に入る行動が見られ、私が面会に行くと鬼のような表情で「お前は母親を捨てるのか！！お前を生んだのが一生の汚点だ」と罵倒され、私もどうしたら良いか分からず途方にくれました。とうとう介護施設から「明後日までに退所してください」と言い渡され、ケアマネージャーさん共々頭を抱えました。何とかしなければと色々な方に相談する中、シルバー病院を紹介して頂き入院の運びとなりました。

入院するまでの5日間を久しぶりに母親と二人家で過ごしましたが、徘徊があるため母親を一人にするわけにはいかず、食事は冷凍食品でした。母親は京都生まれ京都市育ちで、たまたまNHKでやっていた「京都四季の旅」を録画していたので「京都のテレビ見るか？」という二つ返事で喜んで見ていました。1時間程度の番組でしたが食い入るように見ており、「この店知ってる、上賀茂にある」と話の内容も的確的を得ており、認知症を患っているとは全く思えませんでした。次の日から入院と決まっていたのですが、入院しなくても大丈夫じゃないか、早まったかと思ったほどです。

入院して一ヶ月ほど経ち母親と面会しました。別人のように落ち着いて穏やかで「皆さん、本当によくしてくれるのよ」と、ことのほか喜んでいました。認知症は治らん、老人ボケで病気ではない、対処法は無いという認識を多くの方が持っていると思います。母親がおかしな行動をとった最初の時期にスーパーの前で「認知症を知りましょう！！」「認知症は病気です」と言うビラを配っていた方々とお会いしました。その時に、しっかりと認知症と向き合っていれば、母親も私も孫たちも辛い思いを少しでも軽く出来たのではと思います。おかしいなと思ったら専門病院の門を早めに叩くことがとても大切ではないかと思えます。認知症はひどくなると人格が変わり、家族が疲弊する病気だとわかりました。まだ、これから認知症と付き合っていかなければなりません。次は私の番です。関係者の皆様、今後ともよろしく願いいたします。いつもありがとうございます。



すこやか 講座



シリーズ

本当にあった

認知症と間違えやすい病気

嗜銀顆粒性認知症

病気知らずで自立した生活を送っていた84歳の女性が家族に連れられて受診されました。家族によると、同じ話を繰り返す、直前に聞いた内容を忘れる、といった物忘れが目立つようになったそうです。元々穏やかな性格だったのにちょっとしたことで怒るようになり、「財布がない。娘に盗られた」「近所の人が悪口を言っている」といった被害的な発言が増えたようです。検査したところ、見当識障害、近時記憶障害があり、頭部CTやMRIでは、左の側頭葉内側の前方にやや強い萎縮がみられ、海馬の萎縮もみられました。医師には「認知症の中で一番多いアルツハイマー型認知症の可能性が高いが、嗜銀顆粒性認知症も合併しているかもしれない」と言われました。その後も認知症は緩やかに進行するものの、易怒性や被害妄想に関しては、通院しながら薬を調整する中で落ち着きました。



その後、92歳で肺炎に罹患し、逝去されました。本人・家族の希望で病理解剖が行われ、側頭葉内側前方の大脳皮質に嗜銀顆粒が発見され、嗜銀顆粒病と診断されました。

確定診断にこだわらず、診断名を通して患者さん本人の理解を深めることが、支援者にとっても家族にとっても大切なことだと思います。



嗜銀顆粒性認知症とは

嗜銀顆粒性認知症は、高齢（多くは80歳以上）で発症する認知症です。脳の中で「タウ」というタンパク質が異変を起こすと、本来の役割を失いゴミの塊となって脳神経細胞の細い枝（樹状突起）に現れ、さまざまな障害を引き起こすと考えられています。この病気は生きている間に確定診断することができず、診断は死後、病理解剖をしなければ確定できません。そのため診療の現場では、症状・経過・画像所見から「嗜銀顆粒性認知症が合併しているかもしれない」ということまでしか言えません。

アルツハイマー型認知症と似たような症状・経過をたどることがあり、臨床的に区別することが難しい場合も多く、実際に病理解剖でもアルツハイマー病と嗜銀顆粒病両方の特徴が現れていることがあります。

アルツハイマー型認知症と同様に根本的な治療方法は確立していないため、治療としては、行動・心理症状（易怒性、被害妄想、暴言暴力など）を薬剤や環境調整で和らげる対症療法が中心となります。家族だけでは対応が難しいケースが多いので、早めに介護サービスの利用や病院の受診をご検討ください。



次回
術後せん妄についてです

元気はつらつ!
MCI教室

すこやか スマイルクラブ通信



MCI予防教室「すこやかスマイルクラブ」で使用されている「生活ノート」は、自分自身の活動を見直し、より良い生活習慣を身につけるための強力なパートナーです。

このノートの最大の目的は、「日々の生活」を見直すことにあります。食事内容を確認し、活動を書き留めるといった小さな積み重ねが、「今の自分を大切にする」という認識に繋がります。

生活ノートを楽しみながら、皆さんの健康な未来をデザインしていきましょう。



開催日 毎週木曜日 9:30 ~ 11:00
会場 2階 講堂
実施内容 健康チェック・コグニサイズ・週替わり活動



頭をつかう認知課題
コグニション



体をつかう運動課題
エクササイズ



頭と体をつかう複合課題
コグニサイズ

★コグニサイズは国立長寿医療研究センターが定めるコグニサイズ実践者研修を終了したスタッフがインストラクターとして楽しく指導いたします。

認知症進行予防だけでなく、
社会参加の場、仲間作り、楽しい時間の提供を目指しています。

ご 相 談

相談機関 福井県立すこやかシルバー病院 地域連携室

相談時間 平日 9:00 ~ 17:00

電話番号 0776-98-2700

5月より診療体制が新しくなりました

診療体制は下記の通りです。ご予約の際には、お電話をお願いします。
(TEL 0776-98-2700)

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	第一診察室	森 鉄也 再診	升谷 泰裕 初診・再診	升谷 泰裕 再診	福井大学附属病院 医師 初診・再診	升谷 泰裕 再診
	第三診察室	浅野 礼 再診	渋川隆之介 再診 第三週 訪問診療	上野 幹二 初診・再診	伊藤 達彦 再診	
	第四診察室	升谷 泰裕 再診	浅野 礼 再診	松永晶子 初診・再診	升谷 泰裕 初診・再診	浅野 礼 初診・再診
午後	第一診察室	森 鉄也 初診・再診	升谷 泰裕 再診	升谷 泰裕 初診・再診	福井大学附属病院 医師 初診・再診	升谷 泰裕 再診
	第三診察室	浅野 礼 初診・再診	渋川隆之介 初診・再診		伊藤 達彦 再診	
	第四診察室	升谷 泰裕 再診	浅野 礼 再診	浅野 礼 再診		浅野 礼 再診

永年勤続表彰



地域医療を支えてきた中で、
長年にわたり尽力されてきた職員の皆様へ感謝の意を込め、
永年勤続30年の表彰を行いました。



西病棟看護師長	帰山 知子	主任管理栄養士	久世 浩江
東病棟看護師長	辻 真彰	事務部主任	齊藤由美子
外来看護師長	荒井 岐枝	事務部主任	前川 久枝

はじめまして!!

新入職員紹介

おがわ あいら
小川 愛麗

この度、すこやかシルバー病院に新卒で精神保健福祉士として勤務させていただくことになりました、小川愛麗と申します。

認知症専門の病院という専門性の高い環境で、社会人としての一步を踏み出せることに、大きな責任と同時にやりがいを感じています。医療・福祉の現場について学ぶことばかりの日々ですが、患者様やご家族様の思いに丁寧に寄り添い、その人らしい生活を大切にしたい支援ができるように心掛けて行きたいと思っております。先輩方のご指導をいただきながら、ひとつひとつの経験を大切に積み重ね、安心して相談いただけるように頑張ります。

どうぞよろしくお願いいたします。

さかい ゆうき
酒井 優希

この度、すこやかシルバー病院に事務職員として勤務しました、酒井優希と申します。医療事務は初めてで、日々新しく学ぶことばかりですが、いち早く業務を覚え、丁寧かつ正確に日々の業務に取り組んでいきます。

また、患者様やご家族様が安心して来院できるよう、明るく思いやりのある対応を心がけ、職員の方々に信頼していただける事務職員になれるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



認知症に関する研修実施中

当院では一般の方を対象に専門スタッフによる認知症予防や認知症ケアにまつわる様々な研修を行っております。物忘れが気になり始めた方、介護でのお悩みやお困りの方、お気軽にお申し込みください。

受講料無料

●時間 / 13:30～15:00

1 | 脳を鍛えて認知症防ごう

5月29日(金)・6月6日(土)
7月21日(火)・8月8日(土)

2 | 介護保険制度利用ポイント

6月11日(木)・9月10日(木)

3 | 認知症のための心理検査

7月2日(木)

4 | 認知症を予防するための基礎知識

～栄養面からのアプローチ～
7月18日(土)

5 | 認知症の方のコミュニケーション

5月24日(日)・6月16日(火)・8月23日(日)

6 | 認知症の方の症状悪化の原因を考える

6月26日(金)・7月31日(金)・9月1日(火)

7 | 認知症の方が体験している現実とは

4月28日(火)・9月29日(火)

8 | 認知症の基礎知識と対応のポイント

4月24日(金)・6月23日(火)・8月4日(火)

9 | 生活の質を高める環境づくり

～認知症になっても在宅で暮らす工夫～
5月7日(木)・6月2日(火)・9月26日(土)

10 | 認知症高齢者の食事援助

6月19日(金)・9月15日(火)

11 | 認知症の様々な症状に対するアプローチ

7月24日(金)・9月13日(日)

12 | レビー小体型認知症の方のケア

8月10日(月)

13 | 認知症高齢者の介護のポイント

～困り事Q&A～

5月19日(火)・6月28日(日)・9月8日(火)

14 | 医師と考える「人生会議」

～福井県版エンディングノート(つぐみ)～
7月13日(月)

15 | 認知症の進行段階別症状の対応

5月1日(金)・7月17日(金)・9月4日(金)

16 | 笑って、動いて、脳が喜ぶ!

はじめてのコグニサイズ

5月9日(土)・7月4日(土)・8月7日(金)
9月5日(土)・9月16日(土)・9月30日(水)

17 | 認知症の終末期

9月24日(木)

研修のお申込みは下記QRコード、
またはお電話にて



4/24～7/17



7/18～9/30

ご不明な点や申し込みでお困りの方はお気軽に下記の電話番号よりお問い合わせください。



一般財団法人 認知症高齢者医療介護教育センター

福井県立すこやかシルバー病院 福井市島寺町93-6

tel.0776-98-2700